

# あいの実 小平通信

～あんず・りんご・かりん～



立春も過ぎ、ようやく春らしく・・・と、この通信の原稿をかき始めようとしていた矢先の大雪！  
暖冬の年は大雪が降る、というジンクスはきいていましたが、久しぶりの積雪に途惑われた方も多かったことと思います。あいの実小平のスタッフも少なからず遠くから車で通勤しているものもあり、今回はスタッフの不足によりご利用の調整をお願いしたご家庭もありました。大変ご迷惑をおかけしました。生活のことを考えるとなんととも鬱陶しい雪ですが、一面雪につつまれた景色はいつも見ている街とは思えないほど美しく、大人になってもワクワクしますね。

さて先月の「口腔ケア」研修には、現地参加・動画視聴で多くの保護者の方に参加していただきありがとうございました。この研修をもって、今年度予定されていた研修はすべて終了となりました。研修のたびに感じるのですが、日々当たり前に行っている生活のあれやこれや・・・意外と気がついていないことや知らないことがまだまだたくさんあります。専門家のちょっとしたアドバイスでなるほど！と見方が変わり、気持ちに余裕がもてるといいですね。

来年度も皆さまの目から鱗を落とせるような研修を企画できたらと思っています。ご希望などありましたら各事業所管理者へお知らせください。

花粉症のかたには少々つらい時期となりましたが、春はもうすぐそこです。うがい、手洗い、栄養・睡眠をしっかりとって、あと少し寒い季節を乗り越えましょう。



職員

コラム

## おはなしの実

皆さんこんにちは。昨年12月から児童発達支援あんずで指導員としてお世話になってます本田と申します。

突然ですが『ビブリオバトル』という言葉を知っていますか？  
私は小学5年生の息子が学校の授業で行っていることで初めて知りました。『ビブリオ』はラテン語で本・書物を意味する言葉で、それがもととなり「本を紹介してスピーチを競う大会」のことをビブリオバトルと言います。

参加者がおもしろいと思った本を持って集まり、ひとり5分間で本を紹介し、その後その発表についてのディスカッションを2～3分行ってどの本が一番読みたいと思ったかを投票するコミュニケーションゲームです。一番多くの票を集めた本は『チャンプ本』と呼ばれます。

そしてこの『ビブリオバトル』は全国で行われています。ちなみに、先月1月28日にも全国高校ビブリオバトル決勝大会が開催され、『グランドチャンプ本』は埼玉県の高校1年生が紹介した「同姓同名」（下村敦史著、幻冬舎）でした。

小中高校、大学、図書館やカフェ、市民サークルなど様々なところで楽しまれているビブリオバトル。皆さんも参加してみたいかでしょうか。

あんず指導員 本田 晴美

